

### 常磐線活性化対策協議会要望活動



↑常磐線活性化対策協議会要望活動の様子

遠藤町長は、11月6日（木）、水戸市にある東日本旅客鉄道株式会社水戸支社で、常磐線活性化対策協議会の要望活動に参加し、桜井勝延南相馬市長をはじめ沿線自治体の首長らとともに、同支社の小池邦彦支社長に早期の全線運転再開および特急「スーパーひたち」の広野駅乗り入れ再開などを要望しました。

### 放射線相談室を設置



↑放射線相談室開所式の様子

広野町は、11月1日付で広野町役場1階の児童図書室内に広野町放射線相談室を設置し、4日（火）に開所式を行いました。町民から選任した相談室長と看護師の有資格者を採用し、町内および避難先での訪問活動や交流会、専門家による講演会や相談会の開催、配布している個人線量計に関する相談や適切な説明を主な事業内容とし、放射線による健康不安の解消に努めます。併せて相談員の人材育成も図り、将来的には町内各地域に町民主体の運営による相談所の開設も目指します。

↓臨時議会での提案説明の様子



### 臨時議会で補正予算可決

10月31日（金）、平成26年第5回広野町議会臨時会が開会され、一般会計補正予算1件が議決されました。補正予算額は約5億2千万円で、待望の複合商業施設を整備する予算です。

この施設整備は、津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金を活用して、財源のうち4分の3をまかないます（残りの4分の1は震災復興特別地方交付税）。そのため、公設民営の手法を採用します。

テナントには複数の事業者が入りますが、生鮮食品をはじめ町民の生活に必要な商品やサービスを提供する事業者の出店を想定しています。

### ふたば地方復興パークゴルフ大会



↑ふたば地方復興パークゴルフ大会の様子

11月2日（日）、広野町パークゴルフ場で福島原子力事故影響対策特別交付金事業「2014ふたば地方復興パークゴルフ大会」が開かれました。秋晴れの中、遠藤町長はじめ根本茂いわき市議会議長、坂本栄司福島県議会議員および福島県内各地から集まった約200人の出場者が、プレーを思う存分楽しみました。

### 小町ふれあいフェスタに出席



↑「小町ふれあいフェスタ」テープカットの様子

遠藤町長は、10月25日（土）、小野町の小野運動公園で行われた2014小町ふれあいフェスタのオープニングセレモニーに出席し、来賓祝辞で東日本大震災後に広野町民がお世話になった小野町への感謝を述べるとともに、テープカットに参加しました。

### 津波防災訓練を実施



↑津波防災訓練の様子

広野町は、11月5日（水）津波防災の日に、広野町消防団とともに津波警報発令を想定した津波防災訓練を行いました。対象は、町内下浅見川および下北迫在住者ならびに町内にある応急仮設住宅の在住者で、約150人の参加がありました。

参加者は、緊急地震速報、防災無線およびエリアメールの通報にしたがって徒歩で避難所へ向かい、避難者名簿に記入して、支援物資の配布を受けました。要介護高齢者をモデルとした避難行動要支援者の避難実演もありました。

### JR東日本へ感謝状を贈呈



↑JR東日本への感謝状贈呈式の様子

遠藤町長は、11月6日（木）、水戸市にある東日本旅客鉄道株式会社水戸支社を訪れ、常磐線広野～木戸間久保田こ道橋新設工事完成に対する、同社への感謝状を同社土木技術センターの岩崎浩所長に手渡しました。